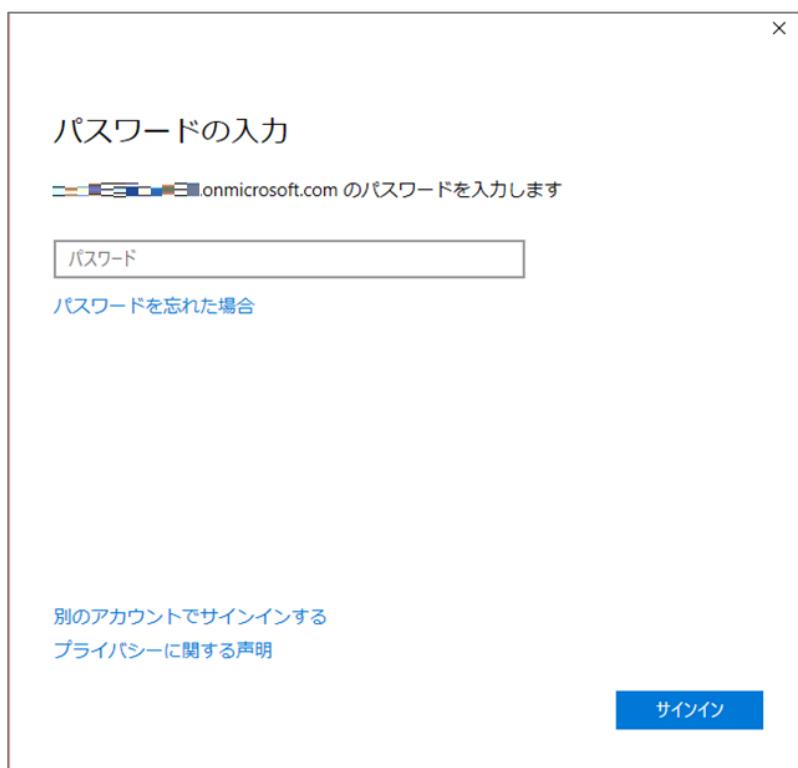


3 メーラーの多要素認証

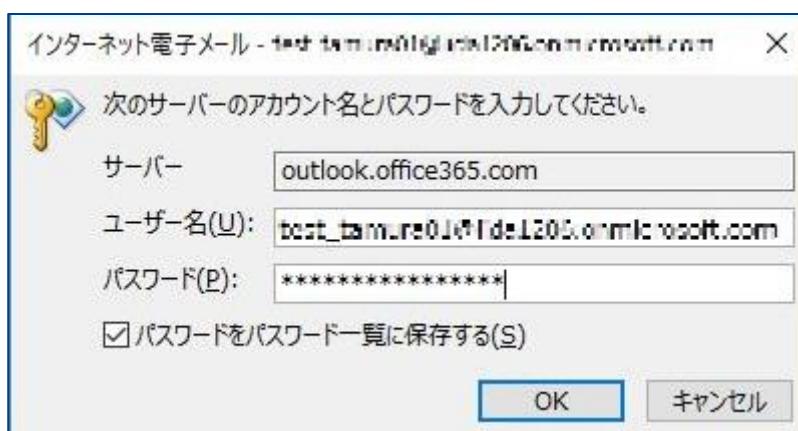
3.1 Outlook2016

Outlook2016 を使用している場合は、本章を確認します。

※ 「2.1 多要素認証方法を選択する」の設定を行っていない場合は、以下の画面が表示されます。通常のパスワードを入力し、「サインイン」をクリックすることで、多要素認証方法の設定を行うことができます。設定方法は「2.1 多要素認証方法を選択する」をご参照ください。



Exchange 以外の接続の種類（POP や IMAP など）を選択している場合は、上記の画面ではなく下記の画面が表示される場合があります。その場合は、「3.1.1.6 POP または IMAP 接続の場合」をご参照ください。



3.1.1 Outlook2016 で認証を行う

「2.1 多要素認証方法を選択する」で選択した内容により、Outlook2016 の認証手順が異なりますので、ご自身の設定を確認してください。

Outlook2016 では、一度認証を行うと認証情報が 90 日間保持され、起動の度に保持期限が更新されるため、再認証は不要です。

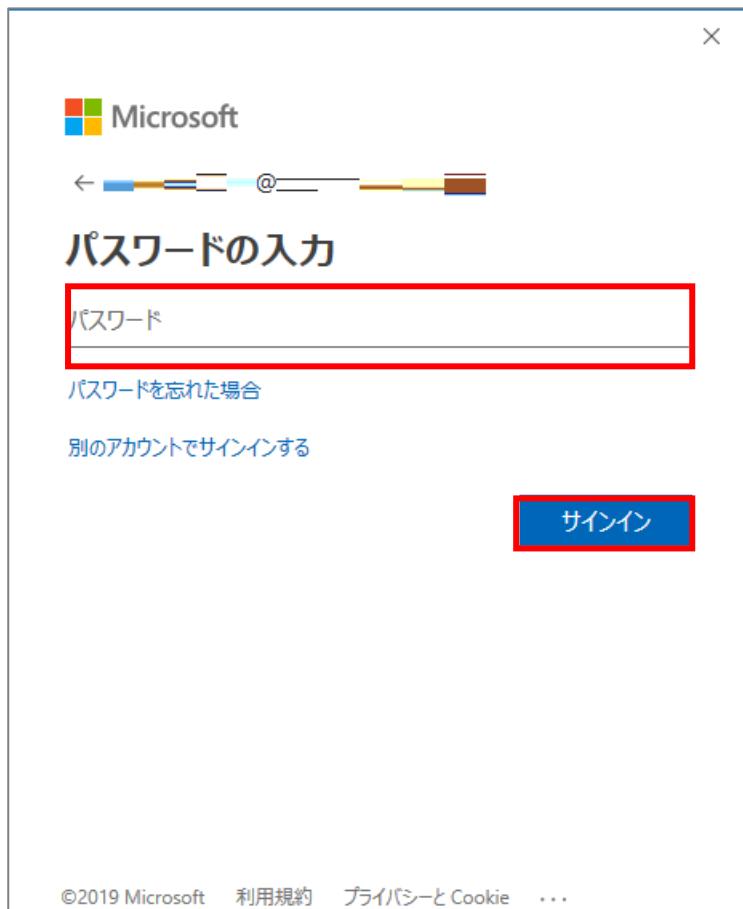
多要素認証の設定		Outlook2016 の認証手順
項目	方法	
認証用電話	テキストメッセージ (ショートメール) ※ 推奨方式	3.1.1.1 「認証用電話」 — 「テキストメッセージでコードを送信する」を選択した場合
	電話	3.1.1.2 「認証用電話」 — 「電話する」を選択した場合
会社電話	利用不可	3.1.1.3 「会社電話」を選択した場合
モバイルアプリ	通知	3.1.1.4 「モバイルアプリ」 — 「確認のため通知を受け取る」を選択した場合
	確認コード	3.1.1.5 「モバイルアプリ」 — 「確認コードを使用する」を選択した場合

3.1.1.1 「認証用電話」 — 「テキストメッセージでコードを送信する」を選択した場合

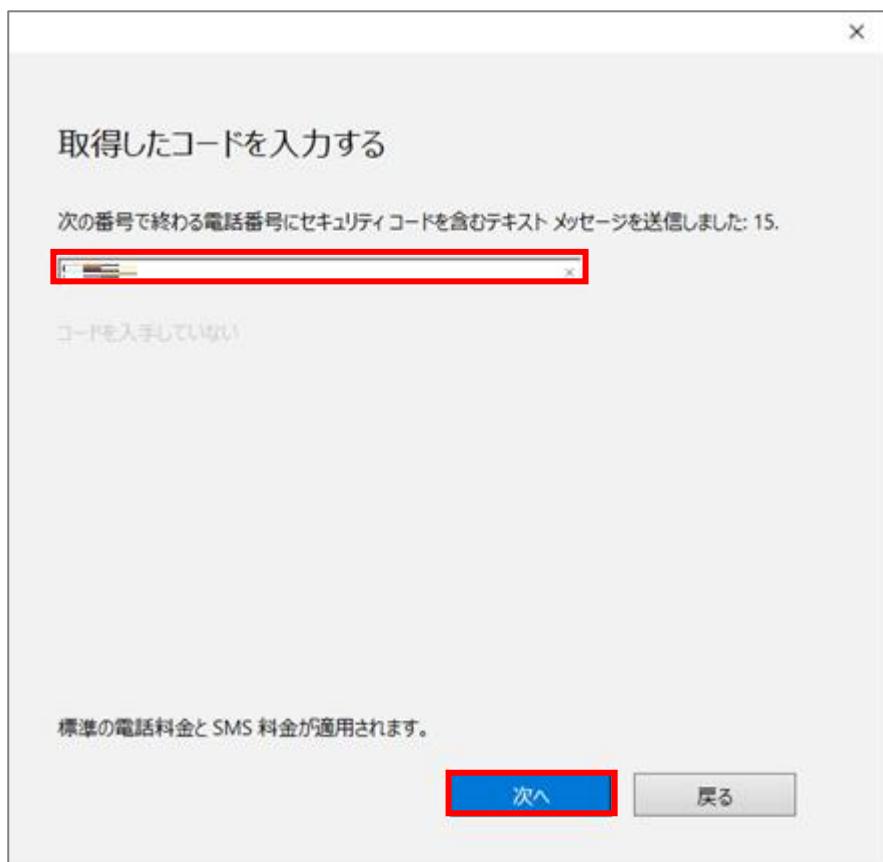
テキストメッセージによる認証を選択した場合の認証方法は、以下の通りです。

- ① Outlook2016 を起動します。

起動時に ID/パスワードの入力画面が表示される場合があります。その場合は、パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



- ② 登録した電話番号宛てに自動でショートメール(SMS)で 6 行の数字のコードが送信されるため、記載されたコードを以下の画面の入力フォームに入力し、「次へ」をクリックします。



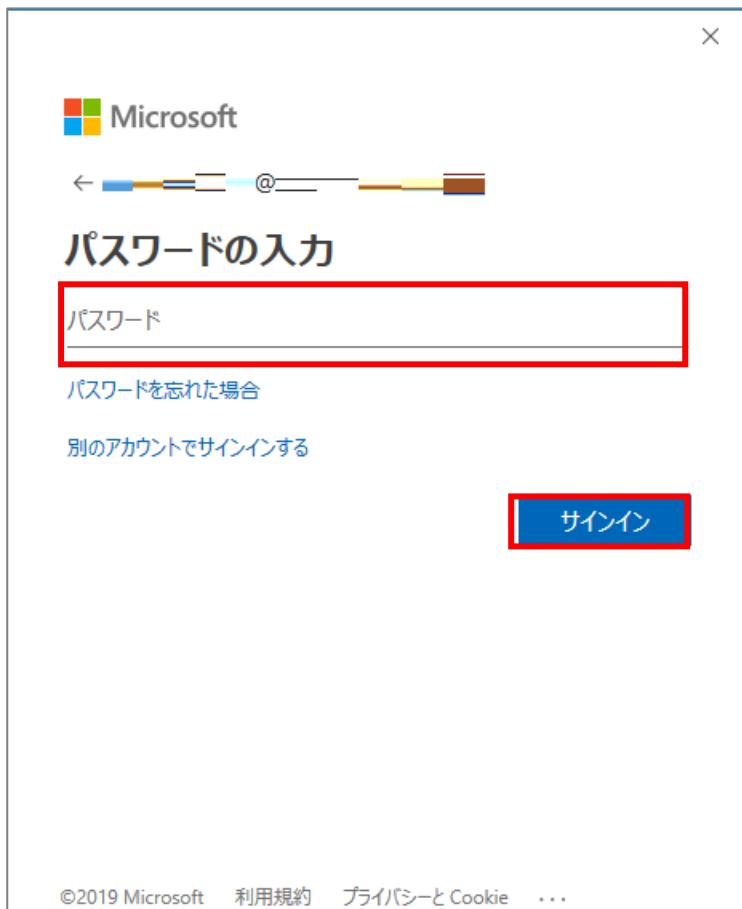
- ③ Outlook2016 の画面に自動で切り替わります。

3.1.1.2 「認証用電話」 — 「電話する」を選択した場合

電話による認証を選択した場合の認証方法は、以下の通りです。

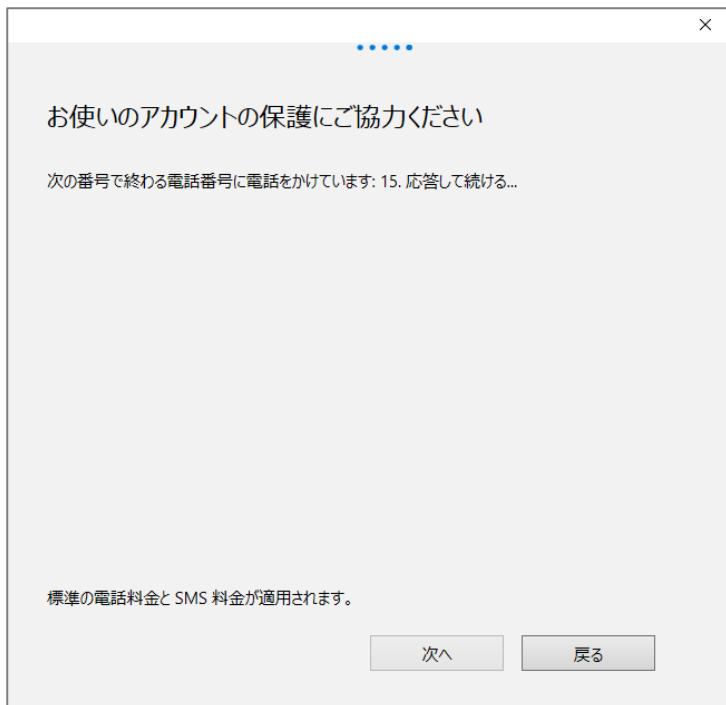
- ① Outlook2016 を起動します。

起動時に ID/パスワードの入力画面が表示される場合があります。その場合は、パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。

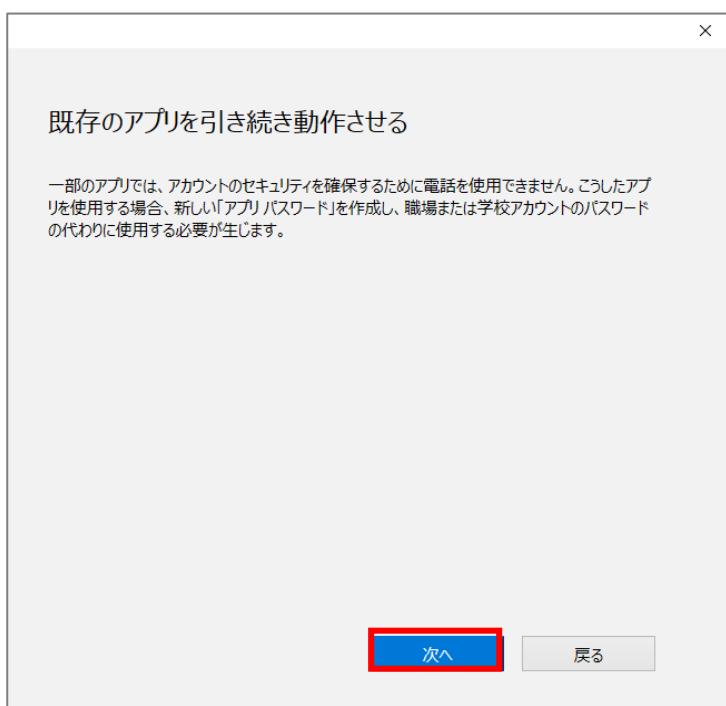


- ② 以下の画面が表示されたら、登録した電話番号宛てに電話が掛かります。音声の指示に従って操作を行います。

(「#」を押すように音声指示があります。アナログ回線の場合は「*」を押してから「#」を押す必要があります。)



- ③ 「次へ」をクリックします。



- ④ Outlook2016 の画面に自動で切り替わります。

3.1.1.3 「会社電話」を選択した場合

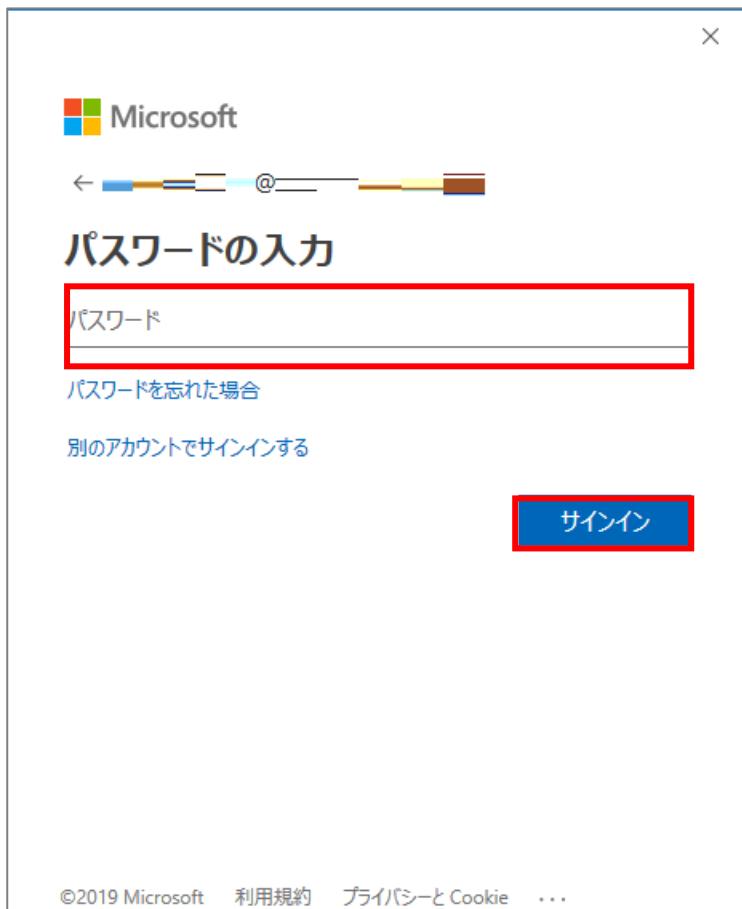
システム連携された会社電話のことを指すため、本学では利用できません。

3.1.1.4 「モバイルアプリ」 — 「確認のため通知を受け取る」を選択した場合

通知による認証を選択した場合の認証方法は、以下の通りです。

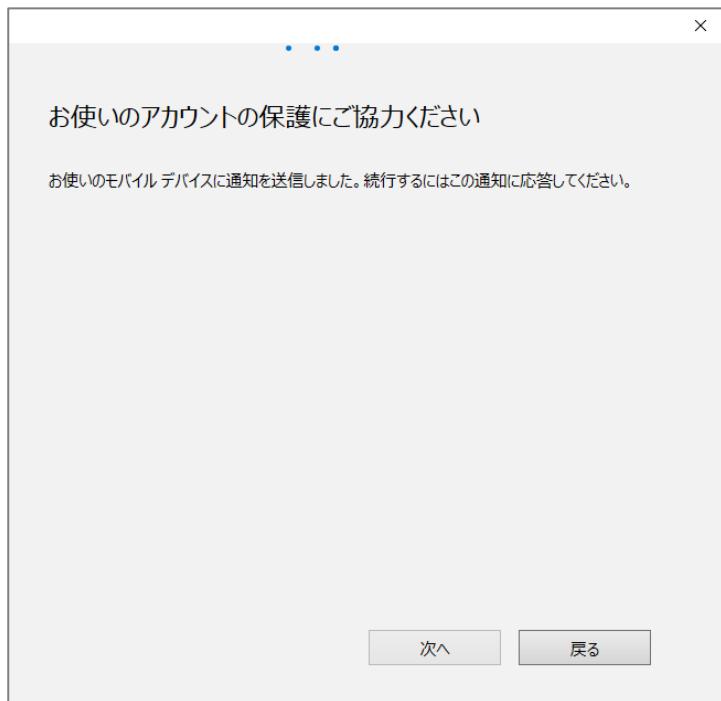
- ① Outlook2016 を起動します。

起動時に ID/パスワードの入力画面が表示される場合があります。その場合は、パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。

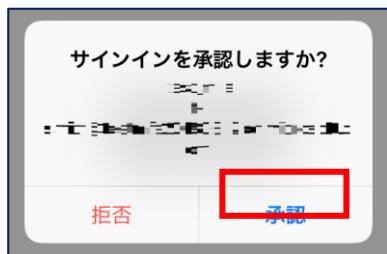


- ② モバイルアプリを起動すると、サインインの許可を求めるダイアログが表示されるため、「承認」をタップします。

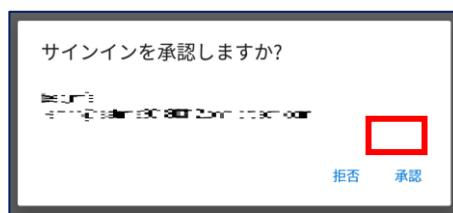
【Outlook2016 の画面】



【iOS 画面】

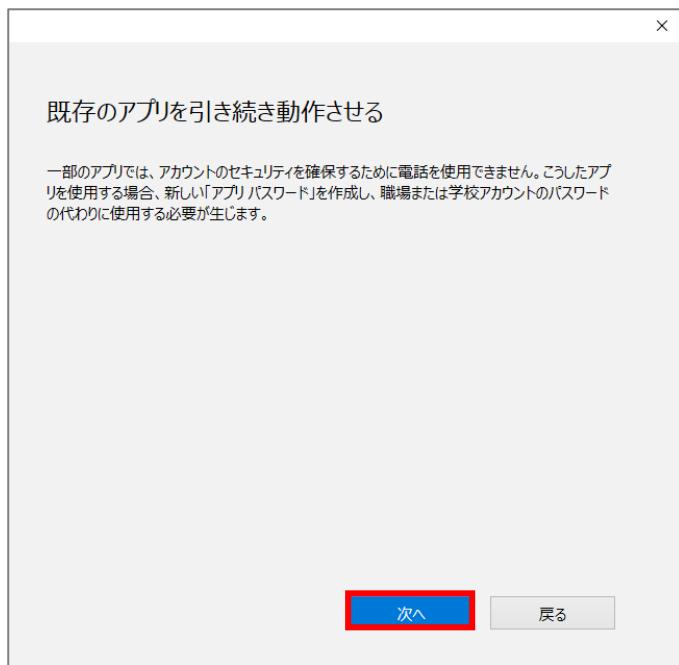


【Android 画面】



③ 「次へ」をクリックします。

【Outlook2016】



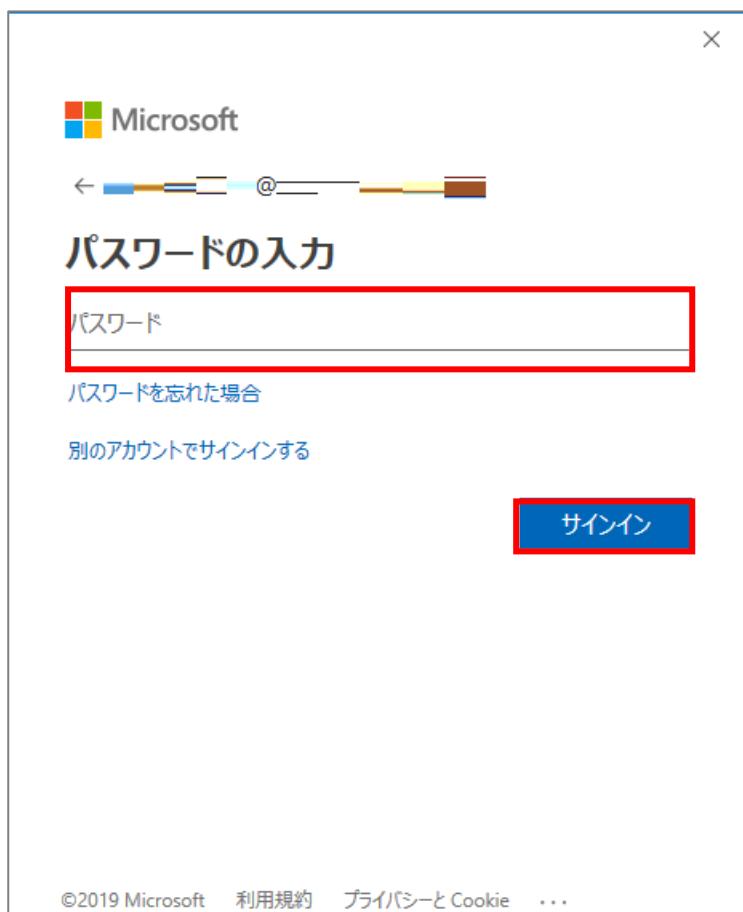
④ Outlook2016 の画面に自動で切り替わります。

3.1.1.5 「モバイルアプリ」 — 「確認コードを使用する」を選択した場合

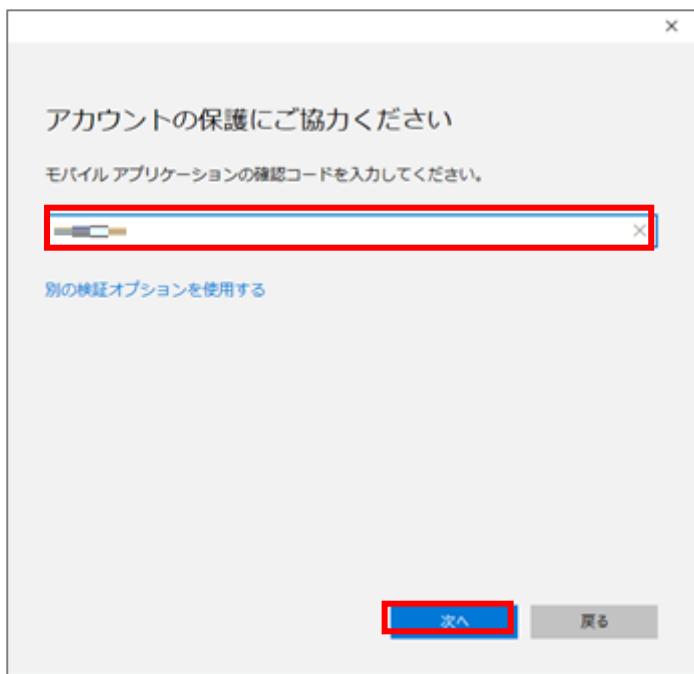
確認コードによる認証を選択した場合の認証方法は、以下の通りです。

- ① Outlook2016 を起動します。

起動時に ID/パスワードの入力画面が表示される場合があります。その場合は、パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



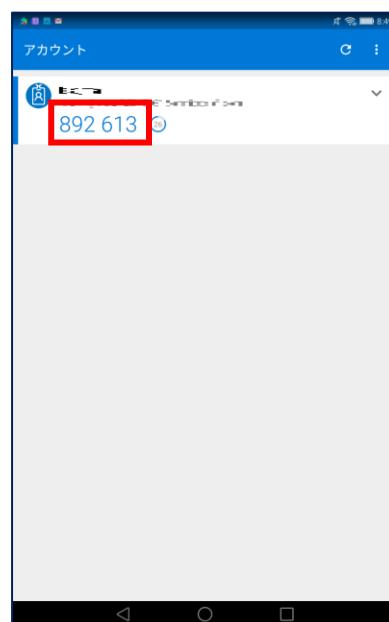
- ② 入力フォームにモバイルアプリケーションに表示された 6 衔の認証コードを入力し、「次へ」をクリックします。



【iOS画面】



【Android 画面】



- ③ Outlook2016 の画面に自動で切り替わります。

3.1.1.6 POP または IMAP 接続の場合

接続方法が POP または IMAP の場合の認証方法は、以下の通りです。

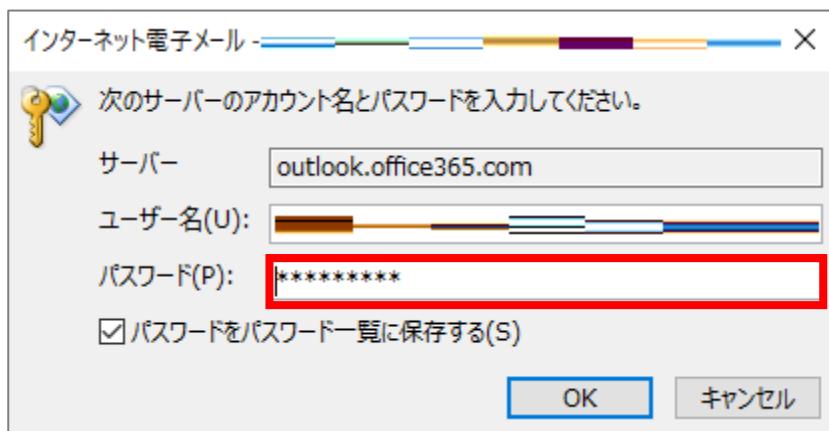
POP または IMAP 接続では、一度アプリケーションパスワードによる認証を行うことで認証情報が保持されるため、再認証は不要です。

【POP 接続】

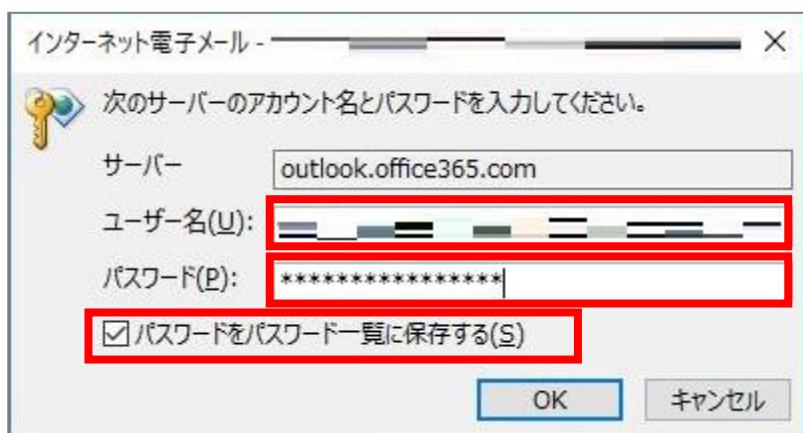
① Outlook2016 を起動します。

② 以下の画面が表示されます。

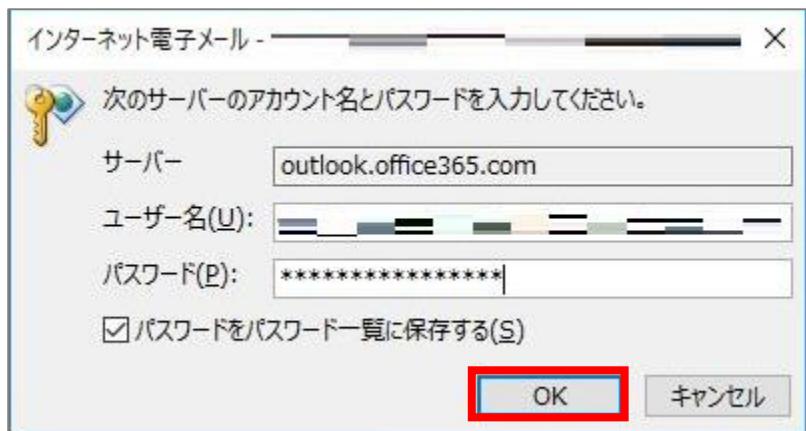
入力フォームの「パスワード」に、今まで使用していたパスワードが入力済みの状態で表示されるため、削除します。



③ 入力フォームの「ユーザー名」に個人メールアドレス、「パスワード」に「2.1 多要素認証方法を選択する」で取得したアプリケーションパスワードを入力し、「パスワードをパスワード一覧に保存する」にチェックを入れます。



④ 「OK」をクリックします。



※ アプリケーションパスワードを入力して認証されたことが確認できた後は、第 3 者に漏洩することを防ぐため、アプリケーションパスワードのメモ等は必ず削除してください。

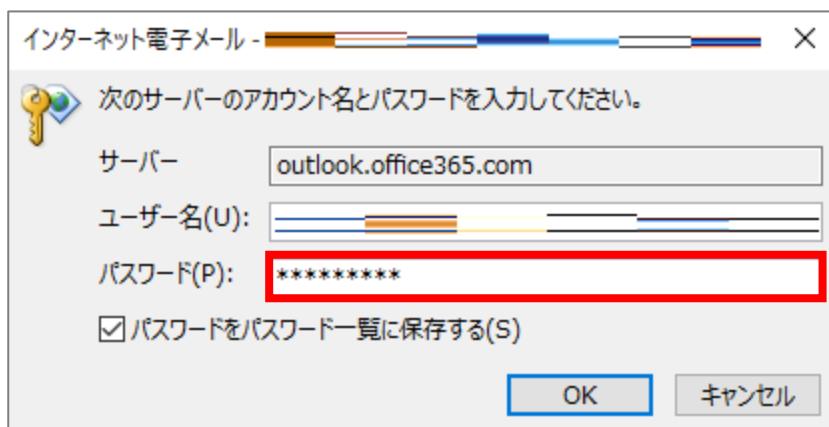
⑤ Outlook2016 の画面に自動で切り替わります。

【IMAP 接続】

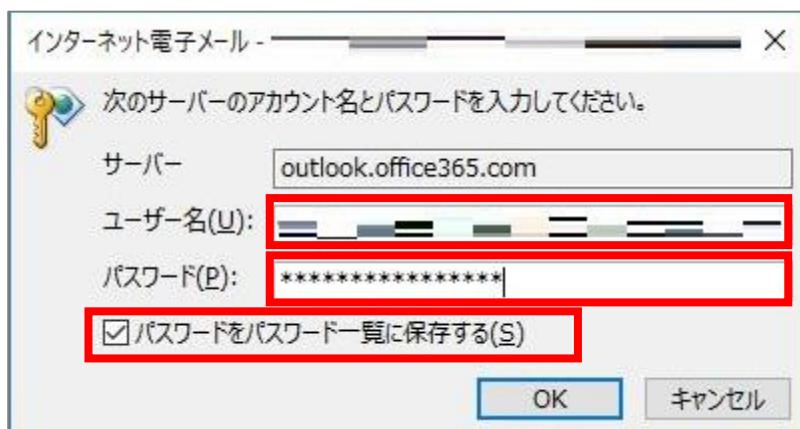
① Outlook2016 を起動します。

② 以下の画面が表示されます。

入力フォームの「パスワード」に、今まで使用していたパスワードが入力済みの状態で表示されるため、削除します。

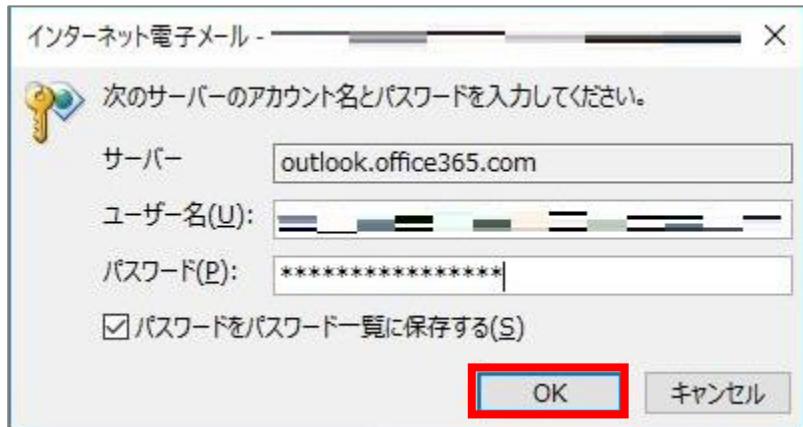


③ 入力フォームの「ユーザー名」に個人メールアドレス、「パスワード」に「2.1 多要素認証方法を選択する」で取得したアプリケーションパスワードを入力し、「パスワードをパスワード一覧に保存する」にチェックを入れます。



④ 「OK」をクリックします。

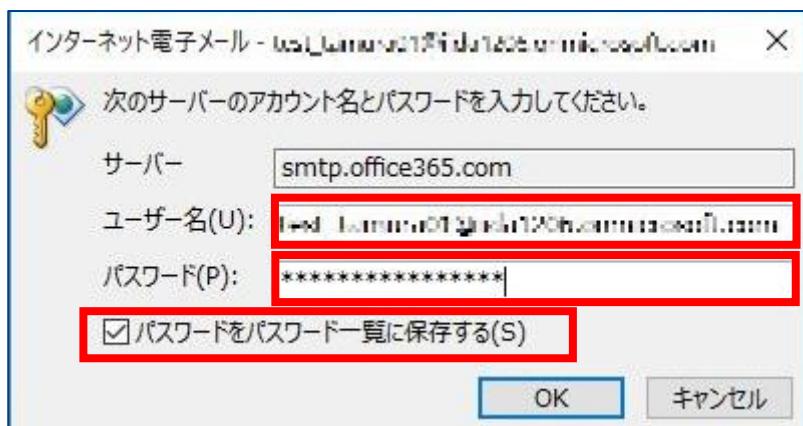
※ 再度以下の画面が表示されることがあります。その場合は、③と同様に入力フォームの「ユーザー名」に個人メールアドレス、「パスワード」に「2.1 多要素認証方法を選択する」で取得したアプリケーションパスワードを入力し、「パスワードをパスワード一覧に保存する」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



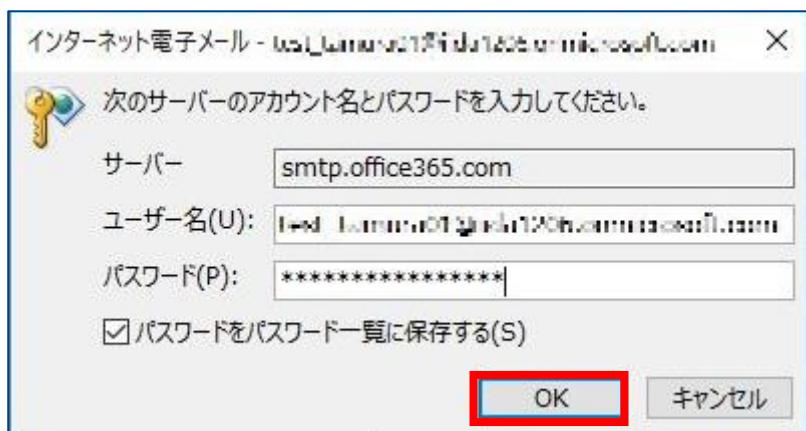
⑤ Outlook2016 の画面に自動で切り替わります。

⑥ IMAP ではメールの送信時も同様に以下の画面が表示されます。

入力フォームの「ユーザー名」に個人メールアドレス、「パスワード」に「2.1 多要素認証方法を選択する」で取得したアプリケーションパスワードを入力し、「パスワードをパスワード一覧に保存する」にチェックを入れます。



⑦ 「OK」をクリックします。



※ アプリケーションパスワードを入力して認証されたことが確認できた後は、第3者に漏洩することを防ぐため、アプリケーションパスワードのメモ等は必ず削除してください。

3.1.2 Outlook2016 からメールを確認する

正常に認証が完了すると、自動でメールが受信され、通常通りメールを確認することができます。

Outlook2016 を 90 日間一度も起動しなかった場合は、再認証が必要です。(IMAP、POP 接続時の場合はアプリケーションパスワードのため再認証不要。) 「3.1.1 Outlook2016 で認証を行う」から再度、手順を実施してください。